

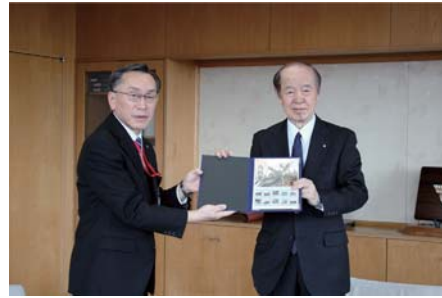


## 災害対応特殊水槽付消防自動車配備 2月12日(金)

富士見町消防署に災害対応特殊水槽付消防自動車が配備され、消防署前で配属式が行われました。この車両には容量1,800リットルの水槽を装備しており、消火栓など水のない火災現場で迅速な消火活動が行えます。また、4灯のLED証明装置などの最新装備車両で、災害時にも活躍が期待できます。

## 祝御柱祭 記念切手寄贈 2月17日(水)

町内の郵便局より「信州諏訪 祝御柱祭」記念切手シートが寄贈されました。上社と下社の2種類あり、前回の木落としや川越し、建御柱などの写真が82円切手10枚にそれぞれ印刷されています。いただいた切手は役場1階町民ホールに展示していますので、ぜひご覧ください。



## ニホンザル被害対策シンポジウム開催 2月20日(土)

町と町有害鳥獣対策協議会はニホンザル被害対策シンポジウムを開催し、これまでの取組状況の報告や、サルの生態と被害対策技術についての講演、パネルディスカッションを行いました。町、専門家、業者や各団体が繋がりを持ち、地域が一体となって取り組んでいくための第1歩となりました。

## 姉妹町 西伊豆だより

### まちづくり活動等の連携に関する協定を締結

NPO法人国際ボランティア学生協会 (IVUSA) と西伊豆町が2月26日(金)、地域活性化などの連携に関する協定を締結しました。

IVUSAは地域活性化や災害救援、環境保護活動などを行っている大学生を中心とした団体で、西伊豆町とは平成25年7月のゲリラ豪雨の際の活動をきっかけとして、年2回町内で合宿やまちづくり活動に参加しています。これまで関東や関西の大学生が、黄金崎公園の松再生プロジェクトや安良里地区で干潟整備などの活動に参加、昨年夏には田子・安良里地区で地域の住民と一緒に神輿を担いだり、出店を手伝ったりしながら夏祭りに参加しました。

協定締結調印式当日には、約150名の大学生が式に参加しました。また、日ごろの西伊豆町での活動を通して感じたことや、休耕田や食育・環境などを活用した町への事業モデルがIVUSAから提案発表されました。調印後には、田子寿司などの地元料理や地元食材を利用した料理などを食べながら地域の方々と学生が交流を図りました。今後は、さらにまちづくり活動や地域の活性化などに関する事業に積極的に参加していただきます。



広告